



寝たきり祖母の楽しみ、訪問化粧品販売

高田智子（滋賀県）

私には九十歳になる祖母がいます。元気で若々しく、一緒におしゃべりしていると、まるで同世代の女友達という気分になれる、自慢の祖母です。ところが二年前、祖母は風呂場で足を滑らせてから、寝たきりの生活を余儀なくされるようになったのです。それまでお洒落が好きだった祖母が、一日に一度も鏡を見なくなり、ふさぎ込んでしまふようになりました。以前のように自分の足で買い物に出かけることができなくなった祖母が、私は心配でたまらなくなりました。





そんな折、私の愛用している〇〇化粧品店が、訪問販売と訪問エステを展開していると聞きました。私は良いことを思いついたのです！自宅に〇〇化粧品のセールスレディの方に来てもらい、祖母にメーキャップやエステを受けてもらおうことにしたのです。

当日、担当のSさんは、色とりどりの口紅や、見ているだけでワクワクするような美しい化粧水の瓶などを、抱えきれないほど持って、自宅を訪問してくれました。祖母は、バラ色の口紅を差してもらいました。すると、祖母の顔が以前のようにパツと明るさを取り戻したのです。祖母は、ウキウキした口調で、「これ、いただくわ」とその口紅を購入しました。





それ以来、祖母は定期的に訪問してくれるSさんを心待ちにしています。化粧品の購入以外にも、訪問エステも楽しみにしている様子。自宅という、自分が一番リラックスできる場所で施術してもらえるのがうれしいそうです。エステをしてもらって、祖母は「人の手ってあったかいのねえ」と顔をほころばせています。Sさんが言うには、

「手当てという言葉は、もともと患部に手を当てるという意味から来ているのです。人の手には、相手を癒す魔法のパワーがあるのですね」とのことです。

Sさんは聞き上手の女性で、いつも祖母の話し相手になってくださいます。祖母はお茶やお菓子を出して、Sさんとおしゃべりに花を咲かせている様子。





肌につけるものだからこそ、〇〇化粧品はお客さまとの直接対面でのカウンセリ  
ングと販売をモットーとされていると、聞きます。私の祖母のように、寝たきりになっ  
ても『おしゃれ心』を失いたくない人のために、お化粧品の訪問販売は最適と言える  
でしょう。他のお年をお召しになられた女性も、ぜひお化粧品の訪問販売を利用され  
ることをおススメしたいです。毎日鏡を見て、お化粧することは、認知症の予防にも  
よいようで、祖母はまた以前の華やぎを取り戻しています。これもすべて、〇〇化粧  
品店に訪問販売部門があったおかげだと感謝しています。

【令和元年度・佳作】

